

主要死因別順位及び死亡率（国民との比較）

（単位：人）

死 因	項 目	国 家 公 務 員						国 民 (18～60歳)		
		(平成14年度)			(平成17年度)			(平成17年)		
		順位	死亡者	死亡率	順位	死亡者	死亡率	順位	死亡者	死亡率
病 死	が ん	1	397	50.1	1	241	42.7	1	50,186	68.6
	心 臓 病	3	103	13.0	3	61	10.8	3	15,923	21.8
	脳 卒 中	4	70	8.8	5	33	5.8	4	11,116	15.2
	そ の 他		94	11.9		68	12.0		26,814	36.6
	計		664	83.8		403	71.4		104,039	142.1
災 害 死	自 殺	2	134	16.9	2	100	17.7	2	20,361	27.8
	不慮の事故	5	48	6.1	4	37	6.6	5	9,954	13.6
	そ の 他		6	0.8		4	0.7		1,737	2.4
	計		188	23.7		141	25.0		32,052	43.8
総 計		852	107.5		544	96.3		136,091	185.9	

- (注) 1 国民については、厚生労働省「平成17年人口動態統計」及び総務省「平成17年国勢調査」を参考とした。
 2 死亡率は、一般職の国家公務員及び国民のそれぞれ10万人に対する率を示す。
 3 一般職の国家公務員数は、国立大学の法人化等により、平成14年度の792,712人から平成17年度は564,679人に減少している。